

『ファスナー合流』してますか？

年末年始に帰省やレジャーで車で出かけると気になるのが渋滞…
高速道路で渋滞情報を見るとうんざりすることも…



特にインターチェンジやサービスエリア・パーキングエリアなどから高速道路の本線に合流する箇所では、渋滞が発生しやすくなります。

それぞれの車がバラバラのタイミングで本線に合流していると、本線を走行している車がブレーキを踏む回数が増えてしまいます。



NEXCOなどでは、このような場所で渋滞が発生している時は、加速車線の先頭まで進み、ゆずりあいの精神で1台ずつ交互に合流する『ファスナー合流』の協力をお願いしています。



『ファスナー合流』は、高速道路の渋滞を緩和する効果があるため、近年ではドライバーマナーの1つとして推奨されています。

人によっては「ファスナー合流」がずるいと感じるかもしれませんが、車の流れをスムーズにするためにも重要なマナーです。実際に名神高速一宮ICでは、渋滞による損失時間を約3割減少させた結果も出ています。

ずるいと感じる人の感覚としては、渋滞時に本線はゆっくりとしか進めない状況で、合流車線の車が自分よりも前で合流するのがモヤモヤするとの意見が多いようです。モヤモヤする気持ちもわかりますが、強引に割り込まれるイライラやさらには無理な合流で事故になることに比べれば、マナーで気持ちよく合流するほうがいいですね。

道路を走行しているのは、自分だけではありません。
マナーとゆずり合い、思いやりのある運転を心がけてくださいね。

